



2023年5月15日

各位

会社名 ユー・エム・シー・エレクトロニクス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 大年浩太
 (コード: 6615 東証プライム市場)
 問合せ先 管理本部経営企画部部長 一萬田祐司
 (TEL. 048-724-0001)

**通期連結業績予想と実績値との差異、通期個別業績の前期実績値との差異並びに営業外収益、営業外費用
 および特別損失の計上に関するお知らせ**

2022年5月16日に公表いたしました2023年3月期(2022年4月1日~2023年3月31日)の通期連結予想、並びに個別実績の前期実績値と、本日公表の2023年3月期の実績において、差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

また、2023年3月期決算において、下記のとおり営業外収益、営業外費用および特別損失を計上しましたのでお知らせします。

1. 2023年3月期 通期連結予想と実績値の差異(2022年4月1日~2023年3月31日)

(1) 通期連結予想と実績値の差異

(百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2022年5月16日)	150,000	1,800	1,800	1,400	円 銭 49.50
実績(B)	161,706	2,222	1,179	637	22.54
増減額(B-A)	11,706	422	△620	△762	
増減率(%)	7.80	23.46	△34.46	△54.48	
(参考) 前期連結 実績 (2022年3月期)	134,550	1,498	2,093	1,570	55.56

(2) 差異の理由

2023年3月期の連結業績について、売上高は予想通りとなりました。損益面につきましては、営業利益は予想通りとなりましたが、主に米ドルに対する中国元安による為替差損が発生したことにより経常利益、及び親会社株主に帰属する当期純利益が減少いたしました。

2. 2023年3月期 通期個別業績の前期実績値との差異（2022年4月1日～2023年3月31）

（1）通期個別業績の前期実績値との差異（百万円未満切捨て）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値（A）	20,268	365	1,158	725	25.64
当期実績値（B）	19,943	507	1,449	678	39.63
増減額（B－A）	△325	142	291	△46	
増減率（％）	△1.61	38.90	25.14	△6.47	

（2）差異の理由

2023年3月期の個別業績における損益面につきましては、製造経費、販管費の抑制により営業利益が増加し、更に、金利上昇に伴う子会社からの受取利息の増加、および賃貸不動産収支の増加により経常利益が増加いたしました。貸倒引当金繰入額の増加、および法人税等の増加により当期純利益は減少いたしました。

3. 営業外費用の計上（連結）

（1）営業外費用の計上について

金融機関からの借入のため、支払利息6億95百万円を営業外費用として計上いたしました。

（2）業績に与える影響

上記の営業外費用につきましては、本日付で公表しております「2023年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

4. 営業外収益、営業外費用および特別損失の計上（個別）

（1）営業外収益の計上について

①受取利息

子会社への貸付のため、受取利息7億82百万円を2023年3月期個別決算において営業外収益として計上いたしました。

②受取地代家賃

神奈川事業所の建物及び付帯設備の取得により家賃収入が発生したため、受取地代家賃34億12百万円を2023年3月期個別決算において営業外収益として計上いたしました。

（2）営業外費用の計上について

①支払利息

金融機関からの借入のため、支払利息6億10百万円を2023年3月期個別決算において営業外費用として計上いたしました。

②賃貸費用

神奈川事業所の建物及び付帯設備の取得により不動産賃貸費用が発生したため、賃貸費用26億23百万円を2023年3月期個別決算において営業外費用として計上いたしました。

(3) 特別損失の計上について

子会社における債務超過額に対応するため、貸倒引当金繰入額4億42百万円を特別損失として計上いたしました。

(4) 業績に与える影響

上記の営業外収益、営業外費用および特別損失につきましては、本日付で公表しております「2023年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に反映しております。

以 上